# 平 成 ２４ 年

**青森県海面漁業に関する調査結果書**

**（属地調査年報）**

**青森県農林水産部**

**は し が き**

**青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき２２市町村を対象に毎月実施しているものです。**

**このたび、平成２４年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたの で、結果書（年報）として公表します。**

**この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。**

**おわりに、この調査の実施に際し、ご協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。**

## 平成２５年３月

**青森県農林水産部長 渋谷 義仁**

## 目 次

#### 調査の要領 ―――――――――――――――――――――――――――1 結果の概要 ―――――――――――――――――――――――――――2 対前年比較表

**第 1 表 魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）―――――――――10**

**第 2 表 魚種別漁獲数量・金額比較表（対 5 カ年平均比）――――――12 第 3 表 月別漁獲数量比較表 ――――――――――――――――――14 第 4 表 月別漁獲金額比較表 ――――――――――――――――――14 第 5 表 分類別漁獲数量比較表 ―――――――――――――――――15 第 6 表 分類別漁獲金額比較表 ―――――――――――――――――15 第 7 表 主な魚種別漁獲数量比較表 ―――――――――――――――16 第 8 表 主な魚種別漁獲金額比較表 ―――――――――――――――17 第 9 表 漁業種類別漁獲数量比較表 ―――――――――――――――18 第 10 表 漁業種類別漁獲金額比較表 ―――――――――――――――19 第 11 表 市町村別漁獲数量比較表 ――――――――――――――――20 第 12 表 市町村別漁獲金額比較表 ――――――――――――――――21**

**県計表**

**第 1 表 年 総 括 表 ――――――――――――――――――――22 第 2 表 月 別 表 ――――――――――――――――――――36**

**市町村計表**

**第 1 表 魚種別漁獲数量及び漁獲金額 ――――――――――――――42 第 2 表 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額 ――――――――――――66 第 3 表 月別漁獲数量及び漁獲金額 ―――――――――――――――71**

調 査 の 要 領

１．調査事項

（１）魚種別漁業種類別漁獲数量

（２）魚種別漁業種類別漁獲金額

２．調査時期

毎 月

３．調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

４．調査方法

調査員が担当区域内の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

５．利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は 100％にならない場合があります。

結果の概要

１．漁獲数量及び漁獲金額

（１）概況

平成 24 年の青森県の漁獲数量は 227,507 トン、漁獲金額は 442 億 7,179 万円となっ

た。これを前年と比較すると漁獲数量で 33,242 トン（17.1％）増加し、漁獲金額では

18 億 4,629 万円（4.0％）減少した（第 1 表）。

（２）主な増減要因

漁獲数量が前年と比較して増加した主な要因は、平成 22 年夏季の陸奥湾で発生した異常高水温による、ほたてがいの大量へい死から、「ほたてがい（稚貝・半成貝・新貝・成貝）」の生産量が順調に回復したことによるものである。漁獲金額が前年と比較して減少した主な要因は、「するめいか（近海・生）」や「あかいか（近海）」の漁獲数量が減少したことによるものである。

（３）過去 5 年間の平均との比較

過去 5 年間の平均と比較して、漁獲が好調であった魚種は「まいわし」（漁獲量対平年比 625.4％）、「ぶり」（328.3％）、「こんぶ」（191.7％）、「ほたてがい（半成貝）」（122.6％）等であった。一方、漁獲が低調であった魚種は「さけ」（81.7％）、「ほたてがい（新貝・成貝）」（56.1％）、「あかいか（近海・海外）」（35.2％）等であった（第 2 表）。

（４）過去 10 年間の平均との比較

平成 24 年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去 10 年間の平均と比較すると数量で 17.6％、金額で 18.3％、それぞれ下回っている（図 1、表）。

##### 表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 年次 | 漁 獲 数 量 | | 漁 獲 金 額 | |
| 数量（トン） | 対前年増減率（％） | 金額（百万円） | 対前年増減率（％） |
| 平成１４年 | **327,486** |  | **58,461** |  |
| 平成１５年 | **281,057** | **△ 14.2** | **51,812** | **△ 11.4** |
| 平成１６年 | **296,063** | **5 .3** | **60,606** | **17.0** |
| 平成１７年 | **289,662** | **△ 2 .2** | **56,914** | **△ 6 .1** |
| 平成１８年 | **278,430** | **△ 3 .9** | **54,675** | **△ 3 .9** |
| 平成１９年 | **295,695** | **6 .2** | **57,217** | **4 .6** |
| 平成２０年 | **261,354** | **△ 11.6** | **53,171** | **△ 7 .1** |
| 平成２１年 | **289,027** | **10.6** | **51,187** | **△ 3 .7** |
| 平成２２年 | **246,690** | **△ 14.6** | **51,825** | **1 .2** |
| 平成２３年 | **194,265** | **△ 21.3** | **46,118** | **△ 11.0** |
| 平成２４年 | **227,507** | **17.1** | **44,272** | **△ 4 .0** |
| 平成14年～平成23年までの平均 （A） | **275,973** |  | **54,199** |  |
| 平成24年／(A)％ | **82.4 %** |  | **81.7 %** |  |

**千トン 億円**

400 700



漁獲数量(千トン)

漁獲金額（億円）

350

600

300

**漁** 250

**獲**

**数量**

200

500

**漁獲**

400 **金額**

300

150

200

100

50 100

0 0

H14 H15 H16 H17 H18 H19 H20 H21 H22 H23 H24

##### 図１ 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

２．月別漁獲数量及び漁獲金額

（１）月別漁獲数量

平成 24 年の漁獲数量を月別にみると、8 月が 38,559 トンで最も多く全体の 16.9％を占め、次いで 7 月の 28,911 トン（12.7％）、9 月の 28,731 トン（12.6％）となっている（図 2、第 3 表）。

**トン**

4,000

平成23年

平成24年

3,000

2,000

1,000

0

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

##### 図 2 月別漁獲数量

（２）月別漁獲金額

平成 24 年の漁獲金額を月別にみると、8 月が 63 億 6,382 万円で最も多く全体の

14.4％を占め、次いで 11 月の 61 億 4,353 万円（13.9％）、12 月の 50 億 698 万円（11.3％）となっている（図 3、第 4 表）。

**百万円**

800

平成23年

平成24年

600

400

200

0

1月 2月 3月 4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月

##### 図 3 月別漁獲金額

３．魚種別漁獲数量及び漁獲金額

（１）分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、さば等の「魚類」が 83,951 トンで最も多く全体の 36.9％を占め、次いでほたてがい等の「貝類」76,895 トン

（33.8％）、「その他の水産動物」61,891 トン（27.2％）、「藻類」4,771 トン（2.1％） の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は 387 トン（0.5％）増加、「貝類」は 43,221

トン（128.4％）増加、「その他の水産動物」は 11,553 トン（15.7％）減少、「藻類」

は 1,188 トン（33.2％）増加した（図 4、第 5 表）。

平成23年

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | |  | |  |  |  |  |  | |
|  | | | | | |  | |  | | | |  |
|  |  |  |  | |  | |  |  |  |  |  | |
|  | | | |  | | | | |  | | |  |
|  |  |  |  | |  | |  |  |  |  |  | |

平成24年

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

魚類 貝類 その他の水産動物 藻類

##### 図 4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「その他の水産動物」が 184 億 2,567 万円で最も多く全体の 41.6％を占め、次いで「魚類」157 億 9,909 万円（35.7％）、「貝類」89 億

1,057 万円（20.1％）、「藻類」11 億 3,646 万円（2.6％）の順となっている。

これを前年と比較すると、「その他の水産動物」は 35 億 6,501 万円（16.2％）減

少し、「魚類」は 1 億 8,608 万円（1.2％）減少し、「貝類」は 17 億 3,681 万円（24.2％）

増加し、「藻類」は 1 億 6,799 万円（17.3％）増加した（図 5、第 6 表）。

平成23年

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  | |  |  | |  |  |  |  | |
|  | | | |  | |  | | | | | |  |
|  |  |  |  | |  |  | |  |  |  |  | |
|  | | | |  | | |  | | | | |  |
|  |  |  |  | |  |  | |  |  |  |  | |

平成24年

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

魚類 貝類 その他の水産動物41.6% 藻類

##### 図 5 分類別漁獲金額の構成比

（２）主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」75,870 トン（構成比

33.3％）、「するめいか」49,785 トン（21.9％）、「さば」44,277 トン（19.5％）、

「ぶり」9,970 トン（4.4％）、「あかいか」7,051 トン（3.1％）、「すけとうたら」

4,657 トン（2.0％）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「ほたてがい」43,332 トン（対前年増加率 133.2％）、「ぶり」7,186 トン（258.2％）、「いわし類」2,117 トン（49.9％）、「こんぶ」1,172 トン（44.9％）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「するめいか」7,528 トン（対前年減少率 13.1％）、「さば」7,386 トン（14.3％）、「あかいか」3,528 トン（33.4％）、

「たら」1,084 トン（24.1％）となっている（図 6、第 1 表、第 7 表）。

##### すけとうたら

2% その他

16%

あかいか

3%

ぶり

ほたてがい

33%

4% 総漁獲数量

### 227,507トン

##### さば

20%

するめいか

22%

図 6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「するめいか」116 億 1,234 万円（構成比 26.2％）、「ほたてがい」83 億 7,026 万円（18.9％）、「さば」41 億 4,696 万円

（9.4％）、「なまこ」27 億 2,308 万円（6.2％）、「まぐろ」24 億 2,542 万円（5.5％）、

「あかいか」15 億 3,552 万円（3.5％）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「ほたてがい」19 億 6,169 万円（対前年増加率 30.6％）、「ぶり」7 億 3,780 万円（158.8％）、

「こんぶ」2 億 4,225 万円（39.5％）、「たこ」1 億 6,538 万円（31.7％）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「するめいか」20 億 8,229 万円（対前年減少率 15.2％）、「あかいか」9 億 7,105 万円（38.7％）、「たら」4 億

7,161 万円（34.4％）、「さば」2 億 8,091 万円（6.3％）、「なまこ」7 億 309 万円

（20.5％）などとなっている（図 7、第 1 表、第 8 表）。

##### その他

29%

するめいか

27%

総漁獲金額

442億7,179万円

あかいか

4%

まぐろ

6%

なまこ

6% さば

9%

ほたてがい

19%

図７ 主な魚種別漁獲金額の構成比

４．漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

（１）漁業種類別漁獲数量

漁業種類別漁獲数量の構成比をみると、「養殖業」が全体の 33.4％（76,040 トン） で最も多く、次いで「まき網漁業」28.3％、「いか釣漁業」17.4％となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「養殖業」43,318 トン（対前年増加率 132.4％）、「まき網漁業」3,206 トン（5.2％）、「採藻漁業」1,164 トン（32.9％）などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「沖合底曳網漁業」6,686 トン（対前年減少率 27.7％）、「いか釣漁業」5,652 トン（12.5％）などとなっている

（第 9 表）。

（２）漁業種類別漁獲金額

漁業種類別漁獲金額の構成比をみると、「いか釣漁業」が全体の 23.2％（102 億 7,127

万円）で最も多く、次いで「養殖業」19.0％、「まき網漁業」13.5％となっている。 これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「養

殖業」19 億 4,725 万円（対前年増加率 30.1％）、「まき網漁業」5 億 6,054 万円（10.3％）、

「採藻漁業」1 億 6,170 万円（16.9％）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「いか釣漁業」20 億 1,924 万円（対前年減少率 16.4％）、「沖合底曳網漁業」12 億 2,583 万円（25.5％）、「底建網漁業」2 億 8,854 万円（16.0％）、「刺網漁業」2 億 4,968 万円（10.1％）などとなっている（第 10 表）。

### ５．市町村別漁獲数量及び漁獲金額

（１）市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が111,764 トンで最も多く全体の49.1％ を占め、次いで平内町 16.2％、青森市 5.4％、外ヶ浜町 4.8％、東通村 3.8％の順となっている。

次に、市町村別漁獲数量を前年と比較してみると、漁獲数量が増加した市町村は、平内町 16,750 トン（対前年増加率 83.5％）、青森市 10,050 トン（436.2％）、外ヶ浜町

6,494 トン（144.5％）ほか 11 市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、八戸市 8,779 トン（対前年減少率 7.3％）ほか

7 市町村となっている（図 8、第 11 表）。

（２）市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が 175 億 7,405 万円で最も多く全体の

39.7％を占め、次いで平内町 10.8％、むつ市 7.1％、東通村 6.7％、深浦町 5.5％の順となっている。

次に、市町村別漁獲金額を前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、青森市 6 億 8,590 万円（対前年増加率 91.2％）、外ヶ浜町 4 億 7,695 万円（31.6％）、

大間町 2 億 6,825 万円（16.9％）、横浜町 2 億 71 万円（21.3％）、野辺地町 1 億 3,472

万円（24.2％）ほか 5 市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、八戸市 22 億 1,797 万円（対前年減少率 11.2％） ほか 11 市町村となっている（図 9、第 12 表）。

その他

15.7%

むつ市

4.5%

外ヶ浜町

4.8%

青森市

5.4%

総漁獲数量

227,507トン

八戸市

49.1%

平内町

16.2%

その他

30.2%

総漁獲金額

442億7,179万円

八戸市

39.7%

深浦町

5.5%

東通村

6.7%

むつ市

7.1%

平内町

10.8%

図 8 市町村別漁獲数量の構成比 図 9 市町村別漁獲金額の構成比